

令和元年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業（研究協議会）」

第4回 検討会1 会議録

1 日時 2020年2月6日（木）10：00～12：00

2 場所 日本女子会館ビル 5階 スペース We Learn
東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル 5階

3 出席者

【検討会1】「大学が中心となった女性の学びとキャリア形成支援」

井出 あゆみ 特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事
特定非営利活動法人浜松男女共同参画推進協会理事長
黒澤 あずさ 特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事
公益財団法人日本女性学習財団学習事業課長
白井 文 ブラザー工業株式会社社外取締役
一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事
杉浦 浩美 埼玉学園大学准教授
納米 恵美子 特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事
公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会理事

【事務局】

坂田 静香 特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事・事務局長

4 欠席者

中野 洋恵 独立行政法人国立女性教育会館客員研究員

5 配布資料

【資料1】福岡女子大HP掲載文

【資料2】京都女子大ヒアリング原稿案

【資料3】明治大学ヒアリング原稿案

【資料4】関西学院大学ヒアリング原稿案

【資料5】検討会2 男女センターモデルプログラム、研究協議会発表内容案

【資料6】研究協議会チラシ

5 議事

(1) 各担当者からヒアリング結果報告

受講者インタビュー部分について、インタビュアーの所感を加えて、1ページ：40文字×36行×4ページ程度でまとめる。

研究協議会前には公開できるよう各大学・インタビュー協力者とやりとりを行う。

(2) 検討会1の成果とまとめについて

【ヒアリングを踏まえて意見交換】

- ・学び直しの機会が増えたことは評価すべき
- ・再就職のプログラムでは再就職のみがゴールとされていない
- ・受講生同士のネットワークや自己肯定感のアップが図れた利点は男女センターの講座と通じるものがある。

- ・大学での学び直しが次の社会変革の力になってほしい
- ・育休中の方にニーズがあるのではないか
- ・男女センターとして大学と連携できる内容を提案してはどうか

【発表資料】

各大学のプログラムおよびヒアリング調査の報告

受講生インタビューで見えてきたもの

最後にまとめ パワポ資料7～8枚程度（担当：納米）

(3) 研究協議会について

①当日の集合時間、担当

当日の集合時間：検討会メンバーは11時集合、協議会メンバーは10時集合

パネルディスカッションは11時～打ち合わせ

担当・・・受付：事務局、司会：黒澤、写真撮影：井出、来賓対応：中野

②当日の流れについて

【検討会の成果とまとめ】

30分のまとめのうち検討会1、検討会2ともに15分ずつ発表

質疑応答はパネルディスカッション後にまとめて実施

【パネルディスカッション】

登壇者3人に10分間ずつ報告を依頼する

野依さんには大学の取り組み、小園さんには男女共同参画センターの取り組み、湯澤さんには困難な状況にある女性支援について その後ディスカッションを実施。

以 上